

22団40周年記念式典 豊中第2団代表挨拶

ご紹介いただきました豊中第2団団委員長の浜嶋でございます。

豊中第22団が創立40周年を迎えられたこと、誠におめでたく、豊中第2団全員でお慶びを申し上げます。

豊中第22団及び豊中第2団は、当初の豊中第2団からそれぞれに分かれて、お互いに40年を経過したことになります。

互いに切磋琢磨して元豊中地区並びにほくせつ地区において、規模的にも活動内容的にも維持発展してきたことは大変喜ばしいことと思います。特に22団は、7年前に私が団委員長に成って以降、身近に感じる存在になりました。22団は2団が目標とする規模で発展しており、2団はいつも刺激を受けております。また、22団を見習い、常にもっと頑張らなくてはならないと反省しているしだいです。

先に開催された8月13日～15日の40周年記念合同舎営に寺町副育成会長と参加させていただきました。そこでは、スカウトから指導者全員が私たちをフレンドリーに迎えていただき、とても楽しい時間を過ごし、スカウトや指導者と交流させていただきました。キャンプファイヤーも盛大に楽しく行われ、行き届いたきめ細かい私たちへの気配りは、22団の誠実な気風が溢れ、感動をいただきました。私は、そのときに気づいたことを2団の仲間にも伝えました。

それは、兄弟団としての交流をもっと深め、互いに発展すべきであるということでした。先輩たちが立ち上げた合同運動会は、今年5月で44回目を迎えております。参加団は変化しておりますが、現在は、豊中16団、18団とともにボーイスカウト技能を競う競技や友情を温める交流プログラム、そして応援合戦などを行い、毎回思い出となる記念品を準備しています。4ヶ団が、本気で競い合い、優勝を分かち合っています。ロープ結びや救急技能、縄跳びの訓練の成果を発揮できる運動会は、ボーイスカウトとしての活動の喜びを感じるものです。ここでの優勝は、多くの団員に感動を与えます。優勝を逃がしたら悔しさも体験できます。

来年3月には、団全体のスキー訓練を22団に誘われて乗鞍高原スキー場で行い、交流を深めることになっています。隊レベルでも、5月のふれあい緑地フェスティバルへの支援参加、ビーバー隊指導者の隊集会见学など、様々な交流がございます。

22団の今後の発展は、2団の発展につながることを認識してこそ、互いにボーイスカウト全体の発展に貢献できると思います。

本日の記念式典の感動を忘れずに、今後の22団の発展をお祈りします。兄弟団を互いに意識できる交流を行い、ボーイスカウトの発展にともに貢献していきたいと思います。

本日は、誠におめでとうございました。